

科目分類	専門職の教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	担当セメスター	区分	単位数	授業時間数
73218	3	前期	選択	2	30
授業科目名 (英文)	公衆衛生看護援助論Ⅱ（公衆衛生看護技術） (Public Health Nursing Ⅱ)				
担当教員名	伊藤 美千代／齋藤 尚子／崎山 紀子				
授業の概要及び到達目標					
既存の社会資源や施策を多角的・継続的にアセスメントし、新たな社会資源の開発や、システム化・施策化など、組織的な計画・立案を行う地域診断について、顕在化・潜在化した健康課題を明確にする方法、健康課題への支援を計画・立案することを学ぶ。 また、ヘルスプロモーション活動の企画・実施・評価について、PRECEDE-PROCEED モデルを用いてする。 下記を到達目標とする ・ 地域保健における課題・取り組みを理解し、説明できる ・ 集団・組織を支援する方法を理解する ・ 既存の統計資料を入手し、データを読み取ることができる ・ 研究論文を読み、研究結果の根拠レベルを判断することができる ・ 情報を統合し、地域診断としてまとめることができる ・ ヘルスプロモーション活動の目的・進め方を理解する ・ 対象の保健行動を支援する関わり方について、その理論と実際の進め方を理解する					
準備学習等					
第1 回：疫学・保健統計学の復習をしてくること 第2 回：エクセルでグラフを作成する手順を修得してくること 第3 回：指定された論文を読んできること 第4 回：「公衆衛生看護学概論」（公衆衛生看護活動の展開における地域診断）（地域診断演習）を読んできること 第5 回：「公衆衛生看護学概論」（社会環境の変化と健康課題）を読んできること 第6 回：国民衛生の動向3 編を読んできること 第7 回：地域診断発表に向けて情報収集をしてくること 第8 回：発表資料を準備してくること 第9 回：「公衆衛生看護学概論」（計画策定と施策化）を読んできること 第10 回：「地域看護技術」（地域ケアシステムの構築とネットワーク化）を読んできること					

第 11 回：「公衆衛生看護学概論」（公衆衛生看護管理）を読んでくること 第 12 回：指定した市のホームページを閲覧し、市の概要、政策・施策について把握すること 第 13 回：事業計画発表に向けて情報収集してくる 第 14 回：発表資料を準備してくる 第 15 回：学習内容を振り返り、まとめること	
成績評価の方法	評価の基準は次のとおりとする。 レポート 20%、発表内容 20%、定期試験 50%、討論への参加度 10%の割合で総合評価する。
テキスト	・ 厚生労働統計協会，「国民衛生の動向 2017/2018」，厚生労働統計協会，2017（1 年次購入） ・ 中村裕美子他，「地域看護技術」，医学書院，2009（2 年次購入） ・ 標美奈子他，「公衆衛生看護学概論」，医学書院，2015
参考図書	「公衆衛生マニュアル」（柳川洋他編、青山堂） 「最新 保健学講座 第 5 巻 地域看護管理論」（メヂカルフレンド社） 「対象別地域看護活動」（医学書院）
備 考	・ 本科目の受講にあたっては、公衆衛生看護援助論Ⅰ・地域保健活動演習、保健指導演習の単位修得が前提となる ・ 本科目の履修は、公衆衛生看護学実習の前提条件となる ・ 指定規則に定める別表 1 に定める教育内容のうち、当該科目では下記を教授する ・ 「個人・家族・集団・組織の支援」「公衆衛生看護活動展開論」「公衆衛生看護管理論」 ・ 各教員のオフィスアワーについては看護学科「オフィスアワー」の項を参照すること
授 業 計 画	
第 1 回 地域診断とコミュニティ・アズ・パートナーモデル 第 2 回 情報収集とアセスメント（統計資料の読み取り、グラフ作成と根拠資料づくり） 第 3 回 情報収集とアセスメント（研究論文のクリティーク） 第 4 回 地域診断の情報収集 第 5 回 健康課題の設定 第 6 回 既存の政策の理解 第 7 回 地域診断発表準備 第 8 回 第 1 回地域診断発表会 第 9 回 活動計画・事業計画の立案 第 10 回 地域ケアシステムづくりの実際 第 11 回 プリシード・プロシードモデルを用いた事業案の検討	

第12回 支援策および評価案の立案

第13回 地域診断内容と支援策の統合

第14回 地域診断に基づいた支援計画（評価案を含む）の発表

第15回 事業案の修正・まとめ

* 授業の進捗度・理解度により変更する場合もある